

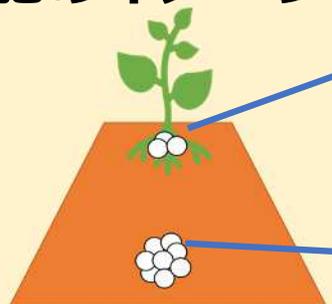
2 段局所施肥で施肥量を 3 割削減

ブロッコリー栽培における肥料低減技術として、「2 段局所施肥機」を用いた、省力・低コスト化の有効性について実証を行いました。



2段局所施肥機
(GRANVISTA KUT-360-GP)

2 段局所施肥のイメージ



上層：生育初期に肥効
速効性肥料を散布

下層：生育後半に肥効
緩効性肥料を散布

2 段局所施肥のメリット

① 追肥量を 3 割削減

肥料は畝の中央に局所的に施用するため、施肥効率が上がり、施肥量を抑えることが可能。

施肥量 (N-kg /10a)			
慣行		2 段局所	
基肥	11.2	上層	2
追肥	6.4	下層	10.3
計	17.6	計	12.3

3 割減!!

② 追肥に要する作業時間を 4 割削減

生育後半は畝の下層に施した緩効性肥料が溶出し、追肥の代わりとなるため、追肥作業を省くことが可能。

作業内容	作業時間 (h/10a)	
	慣行	2 段局所
耕起 ^{注)}		4
基肥施用	2	0.8
畝立て	2	
追肥	4	
計	8	4.8

注) 2 段局所施肥機にはロータリーがついていないので事前に碎土を行う

肥料を減らしても収量は同等以上！！

	収穫日	花蕾径	花蕾高	収量
	(月/日)	(cm)	(cm)	(kg/10a)
2段局所	11/15	12.1	7.4	1,287
慣行	11/25	12.0	6.9	1,096

定植日：9月6日 品種：おはよう



慣行

2段局所